

# 創 新 会 派 視 察 報 告 書

大崎市議会 調査活動概要報告書  
令和5年3月28日提出

## 1. 視察概要

会派名	創新会
視察者名	佐藤仁一郎, 伊勢健一, 早坂憂, 石田政博
日 時	令和5年3月13日(月)10:00~12:00
視 察 先	JOCA 東北(岩沼市)
出席者 (説明者)	公益社団法人 青年海外協力協会 専務理事 JOCA 東北 代表 北野 一人 氏 JOCA 東北 IWANUMA WAY マネージャー 齊藤 純子 氏

## 2. 視察内容

視察項目	
視察内容	<p>○公益社団法人青年海外協力協会 JOCA 東北 IWANUMA WAY の運営状況について 岩沼市と公益社団法人青年海外協力協会 JOCA 東北の関わりは、2011 年の東日本大震災に始まる。</p> <p>震災の復興支援に関して、2011 年 6 月サポートセンター運営に関する協定を岩沼市と JOCA に締結したことに始まる。2011 年 7 月からは、里の杜サポートセンターを開所し、仮設住民訪問等の見守り活動を開始した。</p> <p>2014 年 4 月には、集団移転地(玉浦西地区)のまちづくりに関する支援を開始。2015 年 11 月からは、東北大学農学部より、2 頭のひつじを譲り受け、試験放牧を開始。放牧した場所は、公園として現在では年間3万人ほどの訪問者がいる。</p> <p>2016 年 5 月から牧場づくりイベントを開始(年間)2 回。2016 年 4 月からは岩沼市社会福祉協議会の復興支援センタースマイルと統合、現在の名称に変更し、岩沼市から障害福祉施設 3 施設の委託を指定管理で受託。</p> <p>2016 年 4 月プレハブ仮設住宅の開所式を迎え、全入居者の退去を見届けるも、集団移転地での支援を継続。2017 年ひつじ村公園づくり開始、ドッグラン整備開始。</p> <p>2017 年 1 月岩沼まち、ひと、しごと総合戦略に公募。2018 年 1 月市営亀塚住宅跡地温泉発削開始。翌年 1 月同所に JOCA 建築工事開始。現在同所において、高齢者、障がい者施設、子育て支援センター、フィットネス施設、温泉施設、食堂などの一体型複合型施設を運営している。</p>
【質疑応答】	<p>〈質疑応答〉</p> <p>問 地域課題解決に向けて、JOCA 東北に相談することは可能か。</p> <p>答 協力隊 OB など海外においての地域課題解決に取り組んできたノウハウに基づき活動を行っており、岩沼市以外においても長野県駒ヶ根市や鳥取県南部町においても地方創生事業に取り組んでおり、相談に応じることは可能である。</p> <p>問 複合型施設の職員の協力隊 OB の占める割合は。</p> <p>答 青年海外協力隊員も減少傾向にあり、全てが協力隊 OB というわけではない。</p> <p>全体で 130 人程度の職員がいるが、そのうち 30 名程度である。</p> <p>問 岩沼市で活動を始めたきっかけは。</p> <p>答 東日本大震災があり、さまざまところが被災されたが、岩沼市在住の協力隊 OB からの要請から活動がスタートした。</p>

<p>考 察</p> <p>【所感・課題 ・提言等】</p>	<p>私自身、青年海外協力隊短期ボランティアのOBである。青年海外協力隊の仕事は、レールに乗った上を走るのが仕事ではなく、例えて言うなら、レールのないところからレールを作りそして自分自身が地域社会を巻き込んでそのレールの上を走っていくのが仕事のようなものである。そのような意味では、少子高齢化など地域の抱える課題に向かっていくためには、青年海外協力隊で培ったノウハウが求められると強く感じる。そのような意味でこのように行政と連携して複合型施設を運営していることは素晴らしい取り組みであり本市においても見習うべきと感じる。</p> <p>特に現在政策を展開している、公設日本語学校の運営についても、JOCA 東北のように国際経験があり専門の職種(日本語教師)のいる団体と連携することは非常に重要であると考えます。また、日本語学校の運営についても、日本語学校の運営のみならず国際共生社会実現のための複合型施設として建設することにより、地域内の経済循環に強く貢献するものであるということを提言し、考察とする。</p>
------------------------------------	---

以 上